



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月14日

上場会社名 アークランドサカモト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9842 URL <http://www.arcland.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (CEO) (氏名) 坂本 勝司
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 志田 光明 TEL 0256-33-6000
 四半期報告書提出予定日 2020年12月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年2月21日～2020年11月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	97,077	13.7	10,135	33.4	10,973	33.4	6,404	50.6
2020年2月期第3四半期	85,411	2.9	7,595	△2.1	8,228	△1.7	4,254	△10.1

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 8,077百万円 (50.8%) 2020年2月期第3四半期 5,355百万円 (△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	157.91	—
2020年2月期第3四半期	104.89	—

(注) 2020年2月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年2月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	353,774	89,457	22.5	1,961.08
2020年2月期	105,608	83,105	69.7	1,814.60

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 79,536百万円 2020年2月期 73,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年2月期	—	15.00	—		
2021年2月期（予想）				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年2月21日～2021年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,179	11.1	12,470	30.2	13,207	27.1	6,572	35.6	162.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社（社名） 株式会社ビバホーム 除外 1社

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	41,381,686株	2020年2月期	41,381,686株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	824,029株	2020年2月期	823,983株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	40,557,685株	2020年2月期3Q	40,557,709株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年2月21日から2020年11月20日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部回復の兆しがありましたが、第3波の感染拡大に歯止めがかからず、先行きは依然として、不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループの主力であるホームセンターにおきましては、住まいと暮らしの必需品並びに農業や建築業等の仕事に不可欠な商品を多数提供する社会的インフラであるとの考えの下、感染拡大防止のための環境整備を行い、営業に努めて参りました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は97,077百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益は10,135百万円(前年同期比33.4%増)、経常利益は10,973百万円(前年同期比33.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,404百万円(前年同期比50.6%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<小売事業>

ホームセンター部門の売上高は55,515百万円(前年同期比16.3%増)となりました。前期7月のニコペット京都八幡店及び8月のホームセンタースシ久喜菖蒲店・ニコペット久喜菖蒲店のオープンが寄与したこと及び新型コロナウイルス感染症の拡大防止需要や不要不急の外出自粛等による巣ごもり消費の拡大により、既存店売上高が前年同期比14.1%増となったことによるものです。

その他小売部門の売上高も同様に、5,856百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

その結果、小売事業の売上高は61,371百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は5,445百万円(前年同期比95.6%増)となりました。

<卸売事業>

卸売事業の売上高は5,807百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は740百万円(前年同期比38.6%増)となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」(国内・海外)のFCを含む店舗数が純増11店舗の472店舗、「からやま」・「からあげ縁」も純増18店舗の135店舗となるなど、積極的な事業展開により、売上高は27,189百万円(前年同期比11.6%増)、一方で販管費の増加により営業利益は3,100百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は2,201百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は1,053百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

<その他>

その他には前期9月に事業承継しましたフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」1店舗、前期末2月にオープンした「FIT365」2店舗、今期9月にオープンした「JOYFIT24」1店舗を含んでおります。フィットネス事業は新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業自粛要請による店舗休業等の影響により、売上高は507百万円、営業損失は229百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は2020年11月9日に当社の子会社となった株式会社ビバホーム(以下、「ビバホーム」という。)を連結の範囲に含めております。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比較して248,166百万円増加し、353,774百万円となりました。これは主に有形固定資産が112,479百万円(内、ビバホームは110,273百万円)、商品及び製品が44,182百万円(内、ビバホームは42,777百万円)、のれんが34,238百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比較して241,814百万円増加し、264,316百万円となりました。これは主に短期借入金98,040百万円、リース債務(固定)が30,985百万円(内、ビバホームは30,857百万円)、長期借入金25,741百万円(内、ビバホームは25,000百万円)増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比較して6,352百万円増加し、89,457百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が5,187百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績につきましては、2020年9月10日に業績予想の修正を公表いたしました。その後、2020年11月9日に株式会社ビバホームが自己株式を取得したことに伴い、当社の持分比率が増加したことにより、同社を連結の範囲に含めておりますが、本件に伴う影響は今回予想値に織り込んでおりません。具体的な数値が明らかになり次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,127	41,470
受取手形及び売掛金	4,574	9,271
商品及び製品	12,285	56,467
その他	1,434	4,822
貸倒引当金	△9	△15
流動資産合計	38,413	112,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,872	86,010
土地	13,472	40,083
リース資産(純額)	74	25,636
その他(純額)	1,618	9,785
有形固定資産合計	49,037	161,516
無形固定資産		
のれん	541	34,779
その他	2,173	6,488
無形固定資産合計	2,714	41,268
投資その他の資産		
投資有価証券	9,162	9,122
敷金及び保証金	4,513	24,218
その他	1,771	5,656
貸倒引当金	△5	△24
投資その他の資産合計	15,442	38,972
固定資産合計	67,194	241,757
資産合計	105,608	353,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,077	21,886
電子記録債務	—	24,273
短期借入金	3,800	101,840
1年内返済予定の長期借入金	—	9,000
リース債務	45	1,794
未払法人税等	1,855	4,676
賞与引当金	241	1,821
役員賞与引当金	—	28
ポイント引当金	—	373
その他	3,633	22,253
流動負債合計	14,653	187,946
固定負債		
社債	2,010	2,110
長期借入金	—	25,741
リース債務	44	31,030
長期預り保証金	3,632	11,735
退職給付に係る負債	270	526
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	1,697	4,489
その他	13	556
固定負債合計	7,849	76,370
負債合計	22,502	264,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,582	6,582
利益剰余金	60,657	65,845
自己株式	△641	△641
株主資本合計	73,061	78,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576	1,331
為替換算調整勘定	△42	△44
その他の包括利益累計額合計	534	1,287
非支配株主持分	9,509	9,921
純資産合計	83,105	89,457
負債純資産合計	105,608	353,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)
売上高	85,411	97,077
売上原価	52,281	58,801
売上総利益	33,130	38,275
販売費及び一般管理費	25,534	28,139
営業利益	7,595	10,135
営業外収益		
受取利息	7	13
受取配当金	151	164
仕入割引	227	234
持分法による投資利益	94	143
その他	186	362
営業外収益合計	668	917
営業外費用		
支払利息	2	58
為替差損	17	11
その他	14	8
営業外費用合計	35	79
経常利益	8,228	10,973
特別利益		
店舗譲渡益	18	—
資産除去債務戻入益	21	—
投資有価証券売却益	—	14
テナント退店収入	—	27
段階取得に係る差益	—	435
その他	19	5
特別利益合計	59	483
特別損失		
固定資産除却損	15	16
投資有価証券評価損	—	152
店舗閉鎖損失	143	18
減損損失	26	174
解体撤去費用	29	58
その他	26	48
特別損失合計	240	469
税金等調整前四半期純利益	8,048	10,988
法人税、住民税及び事業税	2,901	3,845
法人税等調整額	△77	△193
法人税等合計	2,823	3,651
四半期純利益	5,224	7,336
非支配株主に帰属する四半期純利益	970	931
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,254	6,404

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)
四半期純利益	5,224	7,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	749
為替換算調整勘定	△40	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△7
その他の包括利益合計	131	740
四半期包括利益	5,355	8,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,398	7,157
非支配株主に係る四半期包括利益	957	919

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ビバホーム（旧 株式会社LIXILビバ）が自己株式を取得したことに伴い、当社の持分比率が増加したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当いたします。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年2月21日 至2019年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	52,963	5,709	24,369	2,157	85,200	211	—	85,411
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	8,732	—	971	9,703	—	△9,703	—
計	52,963	14,442	24,369	3,128	94,904	211	△9,703	85,411
セグメント利益	2,784	534	3,303	951	7,573	4	17	7,595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年2月21日 至2020年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	61,371	5,807	27,189	2,201	96,570	507	—	97,077
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	10,308	—	1,242	11,550	—	△11,550	—
計	61,371	16,115	27,189	3,444	108,120	507	△11,550	97,077
セグメント利益又は損失(△)	5,445	740	3,100	1,053	10,340	△229	24	10,135

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「外食事業」セグメントにおいて、株式会社ミールワークス及びコスミックダイニング株式会社の株式を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間にのれんが2,238百万円発生しています。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

「小売事業」セグメントにおいて、株式会社ビバホームが自己株式を取得したことに伴い、当社の持分比率が増加したことにより、当第3四半期連結会計期間にのれんが32,181百万円発生しています。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

また、のれんの金額は、「小売事業」にて暫定的に認識しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)		増減		(参考) 2020年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	5,709	6.7	5,807	6.0	98	1.7	7,385	6.5
小売事業	52,963	62.0	61,371	63.2	8,407	15.9	68,644	60.9
ホームセンター部門	47,728	55.9	55,515	57.2	7,786	16.3	61,581	54.6
D I Y関連用品	13,512	15.8	15,395	15.9	1,883	13.9	17,131	15.2
家庭用品	14,991	17.6	18,467	19.0	3,476	23.2	20,075	17.8
カー・レジャー用品	5,551	6.5	5,984	6.1	433	7.8	7,227	6.4
園芸用品	13,523	15.8	15,522	16.0	1,999	14.8	16,937	15.0
その他	150	0.2	144	0.2	△5	△3.9	209	0.2
その他小売部門	5,235	6.1	5,856	6.0	620	11.9	7,062	6.3
外食事業	24,369	28.5	27,189	28.0	2,819	11.6	33,327	29.6
不動産事業	2,157	2.5	2,201	2.3	43	2.0	2,883	2.6
その他	211	0.3	507	0.5	295	139.8	443	0.4
連結売上高	85,411	100.0	97,077	100.0	11,665	13.7	112,684	100.0